**Japan Offroad Shorttrack Federation**

「日本オフロードショートトラック連盟競技規則」

## Ⅰ．一般規則

1)　本連盟は、全てのライダーの安全とスポーツ精神の高揚を図るべく競技規則を定める。この規則は、レース参加者・関係者の全てに起用する。

2)　本連盟は、BMX 及び MTB をより確立化した競技となるように努力する。

3)　本連盟は、会員のポイントを記録し、その成績を集計しランキングナンバーを決定し、年度末に次期年度のランキングナンバーを発表する。

4)　本連盟は、年間を通じて優秀なる成績をいかんなく発揮したライダーをはじめ本連盟に多大なる貢献をしたライダー並びにオフィシャルに対しその栄誉と努力を讃へ、表彰する。

## Ⅱ．競技規則

1) ライダー

a.　本連盟のライダーは、レース当日必ず会員証を所持していなければならない。

b.　会員証は、他人に譲ったり貸したりはできない。

c.　偽名・変名を用いて、住所・生年月日等を偽って登録してはならない。

d.　18 才未満の会員は、登録申請に際して、適切な保護者の承諾・署名を必要とする。

e.　ライダーは、本規則を熟知し守らなければならない。

f.　ライダーは、正々堂々たる態度を保ち、下品な言動は慎むこと。

g.　レース出場者は、安全なるレースを行うため競技規則に基づき自転車を管理する。

h.　レース会場では、正式に受付を済ませたライダー以外は、トラックに於いて練習することはできない。

i.　12 才未満のライダーは、親または保護者の同行を必要とする。

2) 競技クラス

日本オフロードショートトラック連盟のクラス分けは、以下とする。

a.　『年令別』クラス・・・年令は満年令とする。

ＢＭＸ

＊　ミルキー6 アンダー　［6 才以下］
＊　ミルキー7　［7 才］
＊　ミルキー8　［8 才］
＊　ミルキー9　［9 才］
＊　ジュニア　［10・11 才］
＊　ミドル　［12・13 才］
＊　１４オーバー　［14 才以上］
＊　３０オーバー　［30 才以上］

但し、本人の希望で 14 オーバークラスにも参加出来る。

＊　パウダーパフ　［女性：年令分けは無い］

ＭＴＢ

＊ ノービスキッズ　［MTB 小学生以下］
＊ ノービス　［MTB 中学生以上 29 才以下］
＊ ノービス３０　［MTB 30 才以上］

但し、本人の希望でノービスクラスにも参加出来る。

＊ ガールズ　［女性：年令分けは無い］

b.　『能力別』クラス

＊　BMX エキスパート　［BMX 14 才以上の上級者］
＊　BMX マスターズ　［BMX 30 才以上の上級者］
＊　BMX エリート　［BMX 14 才以上の最上級者］
＊　MTB エキスパート　［MTB 上級者］
＊　MTB エリート　［MTB 14 才以上の最上級者］

c.　BMX エリート（最上級者）とは、１４才以上の会員で BMX エキスパートクラスにおいて６ヶ月間の内、優勝５ポイントを得た場合（トリプルポイントレース優勝・3 ポイント、ダブルポイントレース優勝・２ポイント、シングルレース優勝・１ポイント）または、他協会で最上級クラスライダーとして優秀な実績を持ち認められている（例：JBMXF 加盟協会の場合スーパークラス）ライダーが自己申請して本連盟が承認した最上級者を現す。ただし、他協会において昇格初年度にあたり、実績が認められない時はエキスパートクラスにおいて、優勝１ポイントを得た時に BMX エリートと認める。また、当連盟会員が他協会において昇格した場合は、当連盟における成績(優勝ポイント獲得数)を元に考慮し選考をおこなう。

d.　BMX エキスパート（上級者）とは、１４才以上の会員で BMX１４オーバークラスにおいて６ヶ月間の内、優勝３ポイントを得た場合（トリプルポイントレース優勝・3 ポイント、ダブルポイントレース優勝・２ポイント、シングルレース優勝・１ポイント）または、他協会で優秀な実績を持ち認められているライダーが自己申請して本連盟が承認した上級者を現す。

e.　BMX マスターズ（上級者）とは、３０才以上の会員で BMX３０オーバークラスにおいて６ヶ月間の内、優勝３ポイントを得た場合（トリプルポイントレース優勝・3 ポイント、ダブルポイントレース優勝・２ポイント、シングルレース優勝・１ポイント）または、BMX エキスパートのライダーが対象年齢に達した時、他協会で優秀な実績を持ち認められているライダーが自己申請して本連盟が承認した上級者を現す。

f.　MTB エリート（最上級者）とは、１４才以上の会員で MTB エキスパートクラスにおいて６ヶ月間の内、優勝５ポイントを得た場合（トリプルポイントレース優勝・3 ポイント、ダブルポイントレース優勝・２ポイント、シングルレース優勝・１ポイント）または、他協会で最上級クラスライダーとして優秀な実績を持ち認められている（例：JCF 加盟協会の場合エリートクラス）ライダーが自己申請して本連盟が承認した最上級者を現す。ただし、他協会において昇格初年度にあたり、実績が認められない場合はエキスパートクラスにおいて、優勝１ポイントを得た時に MTB エリートと認める。また、当連盟会員が他協会において昇格した場合は、当連盟における成績(優勝ポイント獲得数)を元に考慮し選考をおこなう。

g.　MTB エキスパート（上級者）とは、MTB ノービス、ノービス３０クラスにおいて６ヶ月間の内、優勝３ポイントを得た場合（トリプルポイントレース優勝・3 ポイント、ダブルポイントレース優勝・２ポイント、シングルレース優勝・１ポイント）または、他協会で優秀な実績を持ち認められているライダーが自己申請して本連盟が承認した上級者を現す。

h.　BMX エリートが MTB エリートに又はその逆、及び BMX エキスパートが MTB エキスパートに又はその逆のクラスにエントリーするには、それぞれのクラス基準をみたしていなければならない。

i.　各１クラスを構成する為には最低３名のライダーを必要とする。万一３名に満たない場合は、エントリーフィーを還付し出場を取りやめるか、または、上位クラスでの出場とする。選択は出場者自身がするものとする。

j.　BMX クラスとは２０インチホイールを使用したシングルギアの自転車によるレースである。但し、ミルキー6 アンダークラスにおいては 20 インチ以下のホイールの使用を認める。

k.　クルーザークラスとは２４インチホイールを使用したシングルギアの自転車によるレースである。

l.　MTB クラスとは 24 インチ以上のホイールを使用しリヤ３段以上のギアを装備した自転車によるレースである。但し MTB ノービスキッズクラスは 26 インチ以下のホイールを使用しリヤ３段以上のギア及び前ブレーキを装備した競技に耐えうる強度を持った自転車とする。また、MTB ノービス及び MTB ノービス 30 クラスのみ 26 インチホイールを使用したシングルギア自転車の参加を認める。

m.　昇格・移行

(1)　BMX エキスパートから BMX エリート／MTB エキスパートから MTB エリートへ

①　６ヶ月の間に優勝ポイント５点を獲得した場合昇格の権利を得、自己申告により昇格できる。昇格した場合、そのレース年度は元のクラスへは戻れない。

(2)　14 才未満のクラスからそれぞれひとつ上のクラスへ

①　参加レースに連続して３回優勝した場合、上のクラスへ移行する権利を得、自己申告により移行することができる。移行した場合、そのレース年度は、元のクラスへは戻れない。

②　MTB キッズクラスからノービスクラスへは中学入学時に移行とし、イ-1 による移行は行わない。

(3)　BMX14 オーバーから BMX エキスパート、BMX30 オーバーから BMX マスターズ
MTB ノービス・MTB ノービス 30 から MTB エキスパートへ

①　６ヶ月の間に優勝ポイント３点を獲得した場合、昇格の権利を得、自己申告により昇格できる。昇格した場合、そのレース年度は元のクラスへは戻れない。

3) レースプログラム

a.　出場者により以下の通りレースを構成する。

(1)　BMX/MTB ノービス・BMX/MTB エキスパート・BMX マスターズ・BMX/MTB エリート・クルーザー・パウダーパフ・MTB ガールズ

1　３モト＋決勝（１６人以下の出場者の時）
2　３モト＋準決勝＋決勝（１７人～３２人までの出場者の時）
3　３モト＋準々決勝＋準決勝＋決勝（３３人以上の時）

(2)　BMX エリート及び BMX エキスパート

1) と同等であるが決勝は 3 モトの合計で決定される。なお、レースディレクターの判断によってはその限りではない。

b.　レース日の日程は、通常以下の通りとする。

(1)　レース開始準備・・・・８時００分～

*放送設備・受付・ゴール・スタートゲート

*コース整備：８時 00 分～９時１５分

(2)　レース参加の受付・・・８時３０分～９時３０分

(3)　モトシートの作成・・・９時３０分～

1　予選用８枚作成（ゴール、マーシャルリーダー、ステージャー２枚、放送２枚、掲示用２枚）

2　予選終了時点で必要に応じて準々決勝、準決勝モトシート 8 枚を作成（ゴール、マーシャルリーダー、ステージャー２枚、放送 2 枚、掲示用２枚）

3　予選、準決勝終了時点で決勝用モトシート 8 枚作成（ゴール、マーシャルリーダー、ステージャー２枚、放送２枚、掲示用２枚）

(4)　スタッフミーティング・・９時００分～

(5)　公式練習（各１０分程実施）・・９時 15 分～

1　ビギナー、ミルキー6 アンダー、ミルキー7、ミルキー8、ミルキー９、パウダーパフクラス

2　ジュニアクラス、ミドル、14 オーバー、30 オーバークラス

3　MTB ノービスキッズ、ノービス、ノービス 30、ガールズ、クルーザー

4　MTB エキスパート、エリート、クルーザー

5　BMX エキスパート、マスターズ、エリート

(6)　ライダーズミーティング・・１０時１５分～

(7)　レース開始・・・・・・・・１０時３０分～

1　予選第１、第２ヒート、第３ヒート

2　必要により、準々決勝、準決勝

3　休憩（決勝のモトシート作成の間）

4　決勝

5　表彰式・・・・・・・１５時３０分位～

6　片づけ（スタートゲート、ゴール、放送設備、受付）

c.　出場者の組み合わせ一覧表は、別表Ａの通り。但し参加人数等により安全性、効率性を考慮し変更する場合がある。

4) レースポイント計算とレーシングシーズン

a.　レーシングシーズンは１月１日から１２月３１日とする。

b.　ポイントは１年間の積み重ねにより No１ライダー（各クラス）が決まる。

c.　メンバーは連盟公認のレース（シングル・ダブル・トリプル）に出場することにより得点を得ることができる。

d.　メンバーはポイントランキングにより新年度のナンバーが決まる。

e.　メンバーは連盟より与えられたナンバーによるエントリーの時にのみポイントを得ることができる。公認ナンバー以外では、ノーポイントとなる。

f.　１４才以下のクラスでレースが成立せず上位クラスに参加したライダーには、５点が加点される。　この加点制度は緑山開催レースを対象とする。

g.　エントリーポイントとして全て（マスターズ・エリート・エキスパートを除く）のライダーに１０点が与えられる。更に準々決勝、準決勝に出場したライダーにはそれぞれ５点、１０点が加点される。

h.　マスターズ、エキスパート、エリートクラスに出場のライダーにはエントリーポイントの代わりに予選ポイントが与えられる。予選１位が５０点とし、予選順位により２点ずつ減点される。

i.　決勝で得られるポイントは別表Ｂの通りとする。

j.　川口ゴリラ公園でのレースポイントは全てのクラスでノービスポイントとする。

5) スタートポジション

a.　予選(３モト)のスタートポジションはモトシートで決められたコースとする。

b.　予選以外のレースは、予選の成績順にコースを選べる。この時ステージャーに申告すること。

6) フラッグ

a.　赤のフラッグ（旗）でコース内の状況を示す。

b.　対処方法は、コースマーシャルの心得を参照。

7) スタート

a.　出場者は、自分のレースが始まる前に、スターティングフィールドに待機していなければならない。

b.　ステージャーの呼び出しに際して所定の場所にいない出場者は、失格となる。

c.　スタートの方法はスターターの合図によりスタートする。

d.　同一ライダーの待った(WAIT)は、２回まで。３回待ったを掛けた者は失格とする場合がある。（対処の方法は、スターターの心得参照）

e.　レースにおいてビンディングペダル(SPD 等)・専用シューズを装着している場合全てのクラスにおいて、スタート時の手助けは禁止する。

f.　スタートに際しライダーへの手助けを認めるクラスは、ビギナー及びミルキー6 アンダーとする。(競技規則 11-a 参照)但し、このクラスにおいても上記(e)項は適用される。

8) ナンバープレート

a. レースでは、必ずナンバープレートを付けて走らなければならない。

b. ナンバーシールは、必ず連盟から支給されたものを使わなければならない。
やむを得ない場合、高さ 12cm、線幅 2cm 程度のものを使用すること。

c. オフィシャルが即座に判読できないナンバープレートは、失格の対象となる。
20m 程度の距離でも判別できるもので無ければならない。

d. プレートとナンバーの色は次の通りとする。
プレート： 白　　ナンバー： 黒

9) レース

a. レースディレクターはオフィシャル・スコアラー・ライダーに対する権限を持っている。レースディレクターの考えが最終結論であり、規則に載っていない事態に対しても指揮することができる。その場合連盟に対して速やかに報告しなければならない。

b. ステージャー(STAGER)はライダーを呼びだし、レースの指示を出す。ステージャーはピットエリア・呼び出し所・スターティングヒルの総指導者である。

c. スターター(STARTER)はスターティングゲートを操作する。スターターのスタートは公式であり、レースディレクター以外変えることはできない。

d. スコアラー(SCORER)はフィニッシュラインを担当、ヘッドスコアラー１人と正確なフィニッシュを告げるのに必要な人数分のアシスタントがつく。ヘッドスコアラーの結論はレースすべてにおいて最終結論であり例外は認めない。

e. レースディレクターはそのトラックの状態によりルールを修正することができる。これはレースを安全にするためで、どのような修正でもライダー皆に公平でなければならない。但し、レースディレクターは得点方法に関係あることは修正できない。

f. 正式にレースに参加するライダーのみがトラックに入り練習できる。

g. レース中故意に他のライダーを弾き出した場合そのライダーは失格となることがある。

h. ライダーはバイクを押しながらフィニッシュラインを越えることができる。

i. 麻薬・刺激剤・酒は、内科医の許可により処方されていない限り禁止とする。

j. ライダーは他のライダー・オフィシャル・見物人を危険な目に遭わせるような態度で走ることはいかなる時も許されない。

k. トラック内は認定されている人のみ入ることが認められる。このルールを侵害した場合ライダー又はその人に関係するライダーは失格となる事もある。

l. ピットライディングは禁止する。

m. レース中コースアウトした場合、ライダーは安全を確認し、他のライダーに不利益とならない配慮をし、最も近い地点からコースに復帰しなければならない。但し、後続のライダーがスピードを落とした場合は前に入ることが出来る。また、危険を回避する為などやむをえないとコースマーシャルが判断した場合のコースアウトは除外される。しかし原則は全ての状況をトラックの中で切り抜けることである。

n. ライダーは自分の出たレースについて意義のある場合そのレースより３レース以内に本人がオフィシャルに抗議しなければならない。３レースが過ぎた場合、その後でどの様な抗議も提出してはならない。

o. ライダーはスタートしたバイクと同じ物でフィニッシュしなければならない。

p. ライダーは故意にスピードを落としチームメイト、又は他のライダーに越させようとしてはならない。もしその様な行為があった場合そのライダーは失格となる。

q. ライダーは親、又はピットクルー等の行為により失格となる場合がある。

r. ライダーは公衆や私有の物又は、公共物を破壊した場合ペナルティーを課せられることがある。

s. スタート後、スタートヒルを下りきるまでに複数のライダーの接触により一人でも転倒した場合再スタートとなる。

t. スタート後、第１セクションの手前までにスタート時の半数以上のライダーが接触により転倒した場合再スタートとなる。このｓ．ｔ.項は、スタート直後の危険を低減するための規則であり、危険を誘発するようなライディングをしたライダーはコースマーシャルの裁定により降着となる場合がある。

u. オフィシャルは抗議が提出されていなくてもファールを言い渡す権限がある。

v. ライダー、ライダー関係者、クラブ、協会、プロモーターはＪＯＳＦ認可のレースではこのルールを忠実に守らなければならない。

w. コース内にいるライダーは必ずヘルメットを着用しなければならない、レースにおいていかなる場合でもこれを守らなかった場合、オフィシャルは警告し、警告２回で当日のレースは出場停止とする。

x. ライダーはレース中のアクシデント等により自己の意思でヘルメットを脱いだ場合コースカットし、すみやかにバイクを押してゴールラインを通過するか、乗車しコースへ復帰する場合は、ヘルメットを再度着用しゴールすること。ヘルメットの着用なく乗車しゴールした場合は、降着とする

y. 上級者、最上級者向けに設定された走行レーンをプロセクションとする。

z. 原則として BMX エリートはプロセクションを走行しなければならない。レースでは全てをプロセクション内で切り抜けねばならない。なお、レースディレクターの判断によってはその限りではない。

aa. BMX エリート以外の対象クラスはレースディレクターの判断により走行レーンを決定する。

bb. プロセクションのみ走行レーンと決定された場合は全てをプロセクション内で切り抜けねばならない。

10)ゴール

a.　ゴールとは自転車の一部、または、身体の一部がゴールラインに達した時点とする。

b.　ゴール前で転倒したライダーは、自転車と共にゴールしなければならない。

c.　ゴールラインを通過したライダーは、他のライダーの妨害にならないように速やかに退場しなければならない。

d.　対処方法はスコアラーの心得参照。

e.　ライダーはレース中のアクシデントにより、ゴールライン通過が難しい場合、その意思をコースマーシャルに伝えるか、ライダーの意思が確認とれない場合はコースマーシャルの判断によりゴールラインを通過したものすることができる。その際コースマーシャルはスコアラーに報告しなければならない。
なお、順位は最降着とする。

f.　ゴールはコース上を乗車走行しゴールラインを通過した者を優先とする。レース中のアクシデント等によりコースカットしゴールした場合は、よりゴールに近い位置でコースカットしゴールした者を上位とする。e.f の規則共に対象ライダーが複数の場合はスコアラーの判断により順位を決定する。

11)その他

a.　スターティングフィールドには、ライダー・オフィシャル以外は立入禁止である。但し、スタートに際しライダーの手助けを必要と判断されるときは保護者又はそれに代わるものが付き添っても良い。(競技規則 7-e 参照)またスタートのスタンディング時、ライダーを補助する場合、補助の際は後輪を足で挟み補助する事。
また、押し出す行為等のライダーに優位になる行為は禁止する。

b.　ライダー、観客等レース会場における全ての来場者は、いかなる時もライダー、オフィシャル、観客に対しての暴言、暴力行為を禁止する。
暴言、暴力行為を行った者は、退場等のペナルティーを科す。

## Ⅲ．装備と安全

1)　すべてのライダーはヘルメットをかぶりアゴ紐を確実にかけなければならない。またヘルメットは練習走行、レース走行にかかわらずフルフェイスタイプとする。

2)　すべてのライダーは長ズボンをはき、靴を確実に履くこと。やむをえず短パンの場合、競技に耐えうるニーシンガード等を装備すること。

3)　すべてのライダーは長袖シャツを着用しグローブ(ショートフィンガー不可)をすること。やむをえず半袖のシャツの場合は、競技に耐えうるエルボーパット等で装備すること。

4)　すべてのライダー、そしてピットクルーはコースと身の回りとコース周辺を汚さないよう、常にクリーンになるように心がけること。

5)　すべてのライダーは、安全の為にマシンの整備、調整に留意しマシンを良い状態にしておかなければならない。

6)　フレーム３点パッドを必ず装着すること。

7)　ビンディングペダル専用シューズの使用は、適正な寸法の物を使用する事、また、自作及び改造したビンディングペダル専用シューズの使用は禁止とする。

8)　レースに使用する BMX 及び MTB は競技に耐えうる強度を有し、カゴやスタンド、ライト、フェンダー、ペグ等はレースにおいて危険な部品は取り外す事。

9)　レースにおいてすべてのライダーは競技規則に準じた仕様の自転車使用すること。
なお、オフィシャルに不具合等を指摘、警告された場合は、速やかに改善しなければならない。指示に従わず改善が見られない場合はレースに参加する事は出来ない。

10)　BMX 及び MTB のハンドルバーの端部はグリップ又はキャップ等により完全に覆っている事

## Ⅳ．異議申し立て

1)　レースに於ける異議申し立ては、コースマーシャルに申し立てる。コースマーシャルは、競技規則に鑑みて即断する。即断できない事項については、レースディレクター及び関係オフィシャルと協議の上判断を下すものとする。

2)　異議申し立ては、直接の当事者たるライダーのみが申し立てできることであり、第三者からの異議は受け付けない。

3)　異議申し立ては、そのレース直後に申し出ることが望ましいがそのレースより３レース以内に本人がコースマーシャル、または、レースディレクターに申し出ること。３レースを過ぎた場合、異議を受け付けることなく却下する。

4)　異議申し立ては、被申立人が明確な場合に限定する。受け付けた場合は、被申立人からも充分なる主張を聴取しなければならない。

5)　異議が認められた場合は、レースディレクターは裁定内容を発表しなければならない。

## Ⅴ．オフィシャル

1)　ＪＯＳＦのオフィシャル・ティームは以下により構成する。

| | | |
|---|---|---|
| レースディレクター | (競技委員長) | １名 |
| コースマーシャル | (審判員) | ５名以上 |
| スコアラー | (記録員) | ３名以上 |
| ステージャー | (召集員) | ２名以上 |
| スターター | (発走員) | １名以上 |
| アナウンサー/MC | (広報員) | １名以上 |
| セレモニースタッフ | (賞典員) | ２名以上 |

2)　レースディレクターは、レース中に起こるあらゆる問題について処理し、異議申し立てのある際の裁定を下す最高権限を有する。

3)　コースマーシャルはコースの各所においてレース中の事故や不正行為に関して充分なる

注意を払わねばならない。またそれらは、フラッグによって他のコースマーシャルに知らせる。さらに、不正行為に関しては、直ちにレースディレクターに報告し指示を受けるものとする。

4) スコアラーは、各レースの順位等を記録する。ゴールの判定に関しては、総てスコアラーに判断を委ねる。

5) ステージャーは、モトシートに従ってライダーをスタート地点に集合させる。この時、ライダーの自転車の点検、ナンバープレートの有無・適正、装備品の点検を行い改善させる権限を有する。

6) スターターは、スタート時の違反行為の有無を判断し、違反があるときは、注意または、失格させる権限を有する。

7) アナウンサーは、各記録、ライダーの紹介等様々な広報活動を行う。

8) セレモニースタッフは、入賞ライダーの表彰に関する事を行う。

別表Ａ　　出場者組み合わせ一覧表

| 参加人数 | 予選組分け | 準々決勝 | | 準決勝 | | 決勝 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 | 3 | | | | | １人落ち | ２人決勝 |
| 4 | 4 | | | | | | ３人決勝 |
| 5 | 5 | | | | | | ４人決勝 |
| 6 | 6 | | | | | | ５人決勝 |
| 7 | 7 | | | | | | ６人決勝 |
| 8 | 8 | | | | | | ７人決勝 |
| 9 | 5:4 | | | | | 上位４人決勝 | 8人決勝 |
| 10 | 5:5 | | | | | | |
| 11 | 6:5 | | | | | | |
| 12 | 6:6 | | | | | | |
| 13 | 7:6 | | | | | | |
| 14 | 7:7 | | | | | | |
| 15 | 8:7 | | | | | | |
| 16 | 8:8 | | | | | | |
| 17 | 6:6:5 | | | 上位４人準決勝 | 6:6 | | |
| 18 | 6:6:6 | | | | | | |
| 19 | 7:6:6 | | | | | | |
| 20 | 7:7:6 | | | | | | |
| 21 | 7:7:7 | | | | | | |
| 22 | 8:7:7 | | | | | | |
| 23 | 8:8:7 | | | | | | |
| 24 | 8:8:8 | | | | | | |
| 25 | 7:6:6:6 | | | 上位４人準決勝 | 8:8 | | |
| 26 | 7:7:6:6 | | | | | | |
| 27 | 7:7:7:6 | | | | | | |
| 28 | 7:7:7:7 | | | | | | |
| 29 | 8:7:7:7 | | | | | | |
| 30 | 8:8:7:7 | | | | | | |
| 31 | 8:8:8:7 | | | | | | |
| 32 | 8:8:8:8 | | | | | | |
| 33 | 7:7:7:6:6 | 上位４人準々決勝 | ５：５：５：５ | 上位４人準決勝 | 8:8 | | |
| 34 | 7:7:7:7:6 | | | | | | |
| 35 | 7:7:7:7:7 | | | | | | |
| 36 | 8:7:7:7:7 | | | | | | |
| 37 | 8:8:7:7:7 | | | | | | |
| 38 | 8:8:8:7:7 | | | | | | |
| 39 | 8:8:8:8:7 | | | | | | |
| 40 | 8:8:8:8:8 | | | | | | |
| 41 | 7:7:7:7:7:6 | 上位４人準々決勝 | ６：６：６：６ | 上位４人準決勝 | 8:8 | | |
| 42 | 7:7:7:7:7:7 | | | | | | |
| 43 | 8:7:7:7:7:7 | | | | | | |
| 44 | 8:8:7:7:7:7 | | | | | | |
| 45 | 8:8:8:7:7:7 | | | | | | |
| 46 | 8:8:8:8:7:7 | | | | | | |
| 47 | 8:8:8:8:8:7 | | | | | | |
| 48 | 8:8:8:8:8:8 | | | | | | |
| 49 | 7:7:7:7:7:7:7 | 上位４人準々決勝 | ７：７：７：７ | 上位４人準決勝 | 8:8 | | |
| 50 | 8:7:7:7:7:7:7 | | | | | | |
| 51 | 8:8:7:7:7:7:7 | | | | | | |
| 52 | 8:8:8:7:7:7:7 | | | | | | |
| 53 | 8:8:8:8:7:7:7 | | | | | | |
| 54 | 8:8:8:8:8:7:7 | | | | | | |
| 55 | 8:8:8:8:8:8:7 | | | | | | |
| 56 | 8:8:8:8:8:8:8 | | | | | | |

## 別表Ｂ　　ＪＯＳＦレースポイント制度

1)　ＪＯＳＦのポイントは、主催、共催のレース参加の時にのみ与えられる。
2)　ダブルポイントレースと記載されているレース（レースカレンダー参照）の場合、２倍ポイントとなる。
3)　トリプルポイントレースと記載されているレース（レースカレンダー参照）の場合、３倍ポイントとなる。
4)　ポイント期間は、毎年１月１日に始まり１２月３１日に終了する。
5)　ノービスとエキスパートでは、取得点数が異なる。

a.　ノービスポイント

(1)　エントリーポイントとしてレースに参加したライダーには、１０点が与えられる。

(2)　準決勝、準々決勝に進出したライダーにはそれぞれ１０点、５点が加点される。

(3)　決勝進出したライダーには次の各ポイントが与えられる。

１位・・・・・２５ポイント
２位・・・・・２０ポイント
３位・・・・・１５ポイント
４位・・・・・１２ポイント
５位・・・・・１０ポイント
６位・・・・・　７ポイント
７位・・・・・　５ポイント
８位・・・・・　３ポイント

(4)　レースが成立しなかった１４才以下のクラスの者が、上位クラスに参加した場合５点が加点される。この加点制度は緑山開催レースを対象とする。

b.　マスターズ、エキスパート、エリートポイント

(1)　エントリーポイントとして予選順位によりポイントが与えられる。
予選１位を50ポイントし以降２ポイントずつ減点されたものが与えられる。

(2)　準決勝、準々決勝に進出したライダーにはそれぞれ１０点、５点が加点される。

(3)　決勝進出したライダーには次の各ポイントが与えられる。

１位・・・・・１００ポイント
２位・・・・・　８０ポイント
３位・・・・・　６０ポイント
４位・・・・・　５０ポイント
５位・・・・・　４０ポイント
６位・・・・・　３０ポイント
７位・・・・・　２０ポイント
８位・・・・・　１０ポイント

C.　エントリーポイントは全てのクラスにおいて予選１回以上走行した場合に与えられる、

## ＪＯＳＦ各オフィシャルの心得

1)　コースマーシャル

a.　コースマーシャルがコース上に立つ位置は、なるべくライダーの視界に邪魔にならない位置とする。

b.　レース中にライダーが転倒した場合は、後走者の衝突を避けるため転倒者の近くにいるマーシャルが、転倒者のそばに行き赤旗を振る。但し、第１コーナーから第４コーナーのバームの中で転倒者があるばあい、その位置で赤旗を振る。

c.　第２、第４コーナーの近くにいるマーシャルは、バームの外側で見ている観客がバームの上に登らぬように注意する。

d.　転倒者があった時は、赤旗を左右に振る。レースストップの合図があった場合、赤旗を上に掲げライダーを速やかにストップさせる。

2)　スターター

a.　スターターは全てのライダーがゲート板にタイヤを付けていることを確認してからスタートボタンを押す。

b.　スターターはライダーがフライングしていないかを確認する。

c.　ライダーが「WAIT」をかけた場合、速やかにスタート操作を中止し、同一ライダーの「WAIT」は２回までであることをライダーに伝え、ライダーの準備が整い次第再スタートする。

d.　スタンディングしているとき、他のライダーが競技の妨げになるようであれば、静粛にするように注意する。

3)　ステージャー

a.　スタートヒルにおいて、モトシートを基に各クラスのライダーのゼッケン番号でライダーの点呼をとりながら、ライダーにスタートするコース番号を告げる。

b.　ライダーの点呼をとるとき、ライダーの安全防具及び、自転車の状態を確認し不備がある場合その旨をライダーに告げ改善させる。

c.　スタートするクラスを除き、２クラススタートヒルの上にスタンバイさせる。

d.　準々・準・決勝の時は、モトシートに記された各クラスの一番上から順番（予選での成績順に記されている）にゼッケン番号と名前を点呼し、記されている順にスタートコースを選ばせる。(BMX エリート・BMX エキスパートの決勝は除く)

e.　BMX エリートクラス及び BMX エキスパートクラスは決勝を 3 ヒート行なう。
準々・準決勝は d 項と同じであるが、決勝ヒートはモトシートに記されたライダー名、コース番号にしたがいレースをおこなう。

4)　スコアラー

a.　スコアラーは最低３人により奇数人数で行う。
b.　各スコアラーの判定に違いがでたら多数決で決める。それでも判断に迷うときは、そのときのライダーを招集しライダーの意見も聞くものとする。
c.　見づらいナンバープレートに対しては、改善を求める。
d.　同着の場合は追い込んだ後者を上位とする。
e.　自転車を担いだり、押したり、引張りゴールするときは、自転車といずれかの手が接触していなければならない。この場合、自転車、身体のいずれかがゴールラインに達したときがゴールインとみなす。
f.　ゴール前の転倒等で後続車がライン外を通過した場合は、ゴールラインの延長線上に達したときをゴールインとする。

特記事項

川口ゴリラ公園開催レースについて

1)　スタートは 6 名フルゲートとする。
2)　出場者組合せについては 1 モト、6 名を基本にエントリー状況により構成される。
　a. 当日のコース状況、参加者等を考慮の上、安全なレース進行を第一とする。
3)　レースをおこなうクラスは BMX クラスのみとする。
4)　川口ゴリラ公園でのレースポイントはエキスパート、マスターズ、エリートクラスを含めた全てのクラスでノービスポイントとする。

日本オフロードショートトラック連盟
2009 年 11 月 1 日改訂
2009 年 11 月 1 日施行